

今年最後のご紹介は9月からあたためていたこの本です。

『ニルスの不思議な旅』上・下

セルマ・ラーゲルレーヴ／作 菱木 晃子／訳 福音館書店 各2484円

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★☆☆ 小高学年★★★★ 中学生★★☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ひどいいたずら小僧のニルス・ホルゲションは、偶然家で見つけたトムテをつかまえようとして魔法をかけられ小人にされてしまいます。その代り動物と話せるようになったニルスは、飼っていた雄ガチョウのモルテンとともにガンの群についてラップランドを目指す旅にでることになります。モルテンの背中によって見るスウェーデンの景色や旅の中での体験は、ニルスに人生の喜び、仲間との友情、スウェーデンという国に素晴らしさ、自然の大切さを教えてくれ、いつしかニルスは旅に出る前のいたずら小僧とはすっかり変わっていきました。そんな中、ガンの隊長アッカはニルスが人間に戻れるようトムテと話をつけてくれたのですが、それには条件があったのです。

<子どもに手渡す時のポイント>

この物語は、後にノーベル文学賞を受賞した著者が1901年に地理と歴史の教科書の作成を依頼され、6年の歳月をかけて書いた物語です。鳥の背に乗って旅する小人と一緒に読者は国土を鳥瞰的に見ることになり、ニルスの出会う冒険や人々はそれぞれの地方の特色や伝説、歴史を教えてくれます。上下2冊と大部ですが、1章ずつは短くそれぞれに完結しているので見かけよりずっと読みやすい作品です。また、ニルスが出会う物語の中から6篇を選んでカラーの挿絵をつけ、文章も少し手が加えられた『ニルスが出会った物語』全6巻もあるので、本の分厚さに腰が引けてしまう子にはそちらから手渡して本編に誘ってみてもいいかもしれません。

こんな素敵な教科書が日本にもあったらどんなにいいだろう！と思わずにはられません。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手にとってみてください。